

【活動概要】

部員数 13 名(2 年生 8 名 1 年生 5 名)
活動日 原則週 5 日
活動場所 学校、新狭山公園テニスコート

ソフトテニス部は県大会出場と県大会での勝利を目標に日々練習に励んでいます。そして、①「文武両道」②「自主的に行動すること」③「仲間などへのありがとうの心を持つこと」を心がけ、これらを通して、試合で勝つことだけでなく、「みんなでチームを作ること」や「人間性」を育むことを活動の柱としています。

【公式戦・研修大会等結果】

令和 6 年度

- ・ 4 月 6 日 第 42 回春季西部リーグ 団体戦(会場 川越女子高校)
坂戸西、川越女子、豊岡、朝霞西と本校の 5 校で構成される 2 部リーグを総当たり戦で実施しました。結果 4 位で 2 部残留。
- ・ 4 月 20 日 関東大会埼玉県西部地区予選(会場 川越運動公園)
1 ペアが県大会への出場権を獲得しました。もう 1 ペアが敗者復活戦で敗退。
- ・ 5 月 3 日 関東大会埼玉県予選 個人戦(会場 智光山公園)
1 ペアが出場。2 回戦で岩槻商業に敗退。
- ・ 5 月 5 日 関東大会埼玉県予選 団体戦(会場 彩の国くまがやドーム)
2 回戦狭山清陵高校に 3 番勝負で悔しい敗退。
- ・ 6 月 8 日 インターハイ予選 個人戦(会場 熊谷さくら運動公園)
1 ペアが出場。2 回戦浦和第一女子に敗退。
- ・ 7 月 13 日 埼玉県選手権大会西部地区予選個人戦(会場 川越運動公園)
1 ペアがブロック優勝。
- ・ 7 月 20 日 埼玉県選手権大会西部地区予選個人戦(会場 熊谷さくら運動公園)
1 ペアが出場。1 回戦で上尾高校に敗退。
- ・ 8 月 3 日 第 43 回夏季西部リーグ 団体戦(会場 川越女子高校)
朝霞、川越女子、豊岡、山村国際と本校の 5 校で構成される 2 部リーグを総当たり戦で実施しました。結果 1 位で 1 部昇格。カギは初戦に勝利できたこと。
- ・ 8 月 15～17 日 茨城近県研修大会に参加。普段できない県外の学校と対戦しました。・
夏休みには他にも、サンワカップ、狭山市近郊大会、川越市民大会、フジ杯と研修大会に参加。経験を積んできました。
- ・ 9 月 7 日 埼玉県新人大会西部地区予選個人戦(会場 川越運動公園)
2 ペアが県大会への出場権を獲得。1 ペアはベスト 16 に入りました。公立高校でベスト 16 に入ったのは、川女、朝霞、本校の 3 校でした。
- ・ 9 月 14 日 埼玉県新人大会西部地区予選団体戦(会場 川越運動公園)
ベスト 8 に入り、県大会への出場権を獲得。ベスト 8 は私立・公立 4 校ずつと激戦を物語っています。公立高校で出場権を獲得したのは、川女、川西、坂西と本校でした。
- ・ 10 月 25 日 西部支部大会

- ・11月10日 埼玉県新人大会 個人戦(会場 川越運動公園)
2ペアが出場。1ペアは2回戦久喜にファイルで敗退。1ペアは2回戦上尾高校に敗退しました。
- ・11月14日 埼玉県新人大会 団体戦(会場 熊谷さくら運動公園)
地区予選を勝ち抜いた上位32校にて実施。抽選により、東部優勝の昌平高校と対戦、敗退。
- ・2月9日 駿河大学杯 団体戦(会場 駿河台大学)
県外の学校と経験を積みました。
- ・3月26～29日 ルーセント杯 団体戦(会場 千葉県白子町)
県外の学校と経験を積みました。

令和7年度

- ・4月6日 第44回春季西部リーグ 団体戦(会場 星野高校)
全国選抜ベスト8の星野、全国選抜で1勝している埼玉平成、武蔵越生、秋草学園と私立常連のなかで総当たり戦を実施しました。最終戦秋草学園に勝利し、4位残留。公立高校の残留は久しぶりです。よく頑張りました。
- ・4月19日 関東大会埼玉県西部地区予選(会場 川越運動公園)
1ペアが地区ベスト16で県大会への出場権を獲得しました。ベスト16に入った公立高校は川越女子、坂戸西と本校の3校でした。よく頑張っています。もう1ペアが敗者復活戦にまわりましたが体調不良にて残念ながら棄権となってしまいました。
- ・5月4日 関東大会埼玉県予選 個人戦(会場 熊谷さくら運動公園)
1ペアが出場。2回戦熊谷女子に勝利し、3回戦埼玉平成のエースにジュースまでいきましたが敗退。
- ・5月5日 関東大会埼玉県予選 団体戦(会場 彩の国くまがやドーム)
2回戦武南高校に勝利し、3回戦シード校に勝利した川越南に勝利し県ベスト16入り。8決めは星野高校に敗退。インターハイ予選(団体戦)の出場権を獲得しました。
- ・6月7日 インターハイ予選 個人戦(会場 智光山公園)
2ペアが出場。1ペアは2回戦星野高校に競りながらも4-2で敗退。1ペアは2回戦、南部強豪の南陵高校に勝利し、3回戦関東大会出場の松山女子と互角に戦いファイナルで敗退。あと2ポイント……。手が届きませんでした。
- ・6月11日 インターハイ予選 団体戦(会場 熊谷さくら運動公園)
関東予選上位32校で実施。雨の中、坂戸西高校に1対2で敗退。この夏は、「打倒坂西」を目標に頑張ります。

3年生が引退しました。この学年は1つ上の学年と同様コロナ直撃で、例年より西部地区全体で50人以上入部者が減少しました。そんな中、よく頑張りと、1年生の新人から全ての大会で県大会出場を果たしました。世の中では努力が結果に結びつくとは限りません。高校生活のこの経験が自分の人生の中で生きてくれると思っています。

- ・8月3日 第45回夏季西部リーグ 団体戦(会場 星野高校)

星野、埼玉平成、武蔵越生といった私立常連と坂西で総当たり戦を実施しました。新チーム初の団体戦でしたが、力不足を痛感した大会でした。

・8月17～19日 茨城近県研修大会に参加。茨城・千葉・東京といった普段できない県外の学校と対戦しました。合宿なので、夜は仲間との楽しい時間を過ごすこともできました。

・夏休みには他にも、サンワカップ、狭山市近郊大会、川越市民大会と研修大会に参加。経験を積んできました。

・9月6日 埼玉県新人大会西部地区予選個人戦(会場 川越運動公園)

1ペアが県大会への出場権を獲得。県大会をかけた敗者復活戦に3ペアが臨みましたが、夢かなわず……。来春に挑戦します。公立高校で県大会出場権を得たのは、川女(3ペア)、坂西(5ペア)、朝霞・豊岡・鶴ヶ島清風と本校(各1ペア)の6校でした。

・9月13日 埼玉県新人大会西部地区予選団体戦(会場 川越運動公園)

ベスト8に入り、県大会への出場権を獲得。1年生も3人メンバーに入りました。ベスト8は私立・公立4校ずつと激戦を物語っています。公立高校で出場権を獲得したのは、川女、坂西、朝霞、豊岡と本校でした。今回の個人・団体の戦績をみますと本校は公立のなかでベスト3の結果でした。今まで取り組んできた結果だと思います。よく頑張りました。県大会で、勝つことを目標に、残念ながら県大会に出られない選手は来春に向けて取り組みを始めました。